

ICOM

ご注意と保守について

IP ADVANCED RADIO SYSTEM TRANSCEIVER IP100H

安全上のご注意

安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の『△危険』『△警告』『△注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	この記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電器)

△ 警告

- 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- 赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電、けがの原因になります。

△ 注意

- 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所に置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項や保守について説明しています。
お読みになったあとは、いつでも読める場所に保管してください。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 無線機本体について

△ 危険

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
火災、爆発の原因になります。

△ 警告

- 指定以外のバッテリーパックを使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- 大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

△ 注意

- アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。
- 針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となる場合があります。
- 付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- テレビやラジオの近くで送信しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
- -10℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ バッテリーパックについて

△ 危険

- 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - 弊社指定の充電器での充電、および無線機の使用について厳しい検査をしていますので、弊社指定以外の無線機や充電器、およびそれ以外の用途には使用しないでください。
 - バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。
失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

△ 警告

- 使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- 電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- 指定の充電時間以上、充電しないでください。
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- 満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

バッテリーパックをご使用の際に、異常と思われたときは、使用しないで買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△ 注意

- 下記の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、**III**(残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月：-20～+50℃
約3ヵ月：-20～+35℃
約1年：-20～+20℃
 - -10℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。
 - 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
 - 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

■ 充電器について

△ 危険

- 下記の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。
 - 充電器に指定以外のものを接続しないでください。
 - 指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。

△ 警告

- 下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。
また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
 - 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

△ 注意

- 下記の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
 - 以下の温度範囲以外の環境で充電しないでください。
BC-202(急速充電器)：0～40℃
BC-202IP2(急速充電器)：10～40℃
BC-211(6連急速充電器)：10～40℃
 - 充電が完了したバッテリーパックを再充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

使用後はリサイクルへ

この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ <http://www.jbrc.com/>



無線LANの電波法についてのご注意

- ◎ 5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されます。
- ◎ 本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けています。したがって、本製品の使用については、無線局の免許は必要ありません。
- ◎ 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用できません。
- ◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- ◎ 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- ◎ 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。
- ◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。

2.4GHz無線LANの電波干渉についてのご注意

- 2.4GHz帯の無線LANで通信するときは、次のことがらに注意してください。
- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。
- ◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
 - ◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記のサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
 - ◎ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。**お問い合わせ先**
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ **携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、**
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)

Bluetooth[®]搭載機器との電波干渉について

Bluetooth[®]搭載機器は、2.4GHz帯を使用しています。本製品を2.4GHz帯でご使用になるときは、Bluetooth[®]搭載機の近くで使用すると、混信して通信速度の低下や接続が不安定になることがあります。電波干渉するときは、Bluetooth[®]搭載機器の無線伝送可能領域外で本製品をご使用いただくか、Bluetooth[®]搭載機器のご使用をお控えください。

2.4GHz無線LAN表記の意味について

「**2.4**」：2.4GHz 帯を使用する無線設備
「**DS/OF**」：DS-SS 方式 /OFDM 方式
「**4**」：想定干渉距離が 40m 以下
「**---**」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

5GHzの無線通信チャンネルについて

右記の表示がある製品は、IEEE802.11a (W52/W53/W56)規格で採用された無線通信チャンネルに対応しています。本製品が接続する無線アクセスポイントについても、この表示がある製品でご使用いただくことをおすすめします。

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n
J62 W52 W53 W56

ご注意
5GHz帯(W53/W56)を使用する場合、無線アクセスポイント側でANY拒否などSSIDステルス(隠蔽)機能が設定されていると、本製品は接続できません。

取り扱い上のご注意

- ◎ アンテナを持って製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎ 本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎ 雨の中や、水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックや防水形スピーカーマイクロホン、アンテナを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎ 蛇口からの水や湯を直接当てないでください。
- ◎ 無線機本体やバッテリーパックと充電器の各端子(充電端子および電源ジャック)、アルカリ電池ケースの電池端子にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがありますので、定期的にお手入れをしてください。
- ◎ 磁気カードを無線機に近づけないでください。磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎ バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してください。

- ◎ 本製品は、ネットワークの状態により音声が途切れるなど音質が低下する場合、1秒以上の音声遅延が生じる場合があります。
- ◎ 本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

防水性能について

- バッテリーパックを本製品に装着することで、IPX7の防水性能になります。次のような使いかたをすると、防水性能を維持できませんので、ご注意ください。
- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
 - 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でバッテリーパックや防水形スピーカーマイクを付けたり、はずしたりしたとき
 - 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
 - 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
 - 長時間、高い水圧をかけたとき
 - 蛇口からの水や湯を直接当てたとき
 - 「別売品の防水性能について」に記載する別売品以外を使用したとき
 - 無線機本体とバッテリーパック端子間の腐食による故障、または損傷
 - -10℃～+60℃で使用したとき
 - 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
 - 本製品を分解または改造したとき
 - 無線機本体とバッテリーパック、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の防水性能について

- バッテリーパック(BP-271/BP-272)を無線機本体に装着することで、IPX7の防水性能になります。
- ※ 上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防水性能の低いものに制限されます。
 - ※ 別売品は、防水性能をご確認の上、ご使用ください。(弊社ホームページに掲載のIP100H取扱説明書(PDFファイル))

海水が付着したときは？

- 海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。
- ※ バッテリーパック、アンテナ、保護カバーを無線機に正しく取り付けた状態で洗浄してください。
 - ※ 常温の真水でやさしく洗い流してください。
 - ※ ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意
次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。 ・無線機本体、ジャックの保護カバーが破損している場合 ・落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

登録商標/著作権について
アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。本製品のフォントは、モリサワのフォントを採用しております。

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

バッテリーパックの膨らみについて

下記のような環境や条件で使用をつづけると、バッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

- ◎ ひんぱんに充電している
- ◎ 満充電直後でも再充電している
- ◎ 高温な場所で使用・保管している
- ◎ 本書で説明する充電方法と異なる

バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、アイコムホームページでお受けしています。インターネットから、<http://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート情報→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力ください。

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品とパソコンの設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- **弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ **携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、**
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール: support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ: http://www.icom.co.jp/

- 弊社製品の故障診断、持ち込み修理などの修理受付窓口は、別紙の「サービス受付窓口一覧」、または弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> をご覧ください。